

## 五戸総合病院での研修を終えて

令和4年1月

順天堂大学附属浦安病院初期研修医2年 鶴見 洸太

大学病院で研修している私にとって、五戸での勤務はすごく新鮮で、様々な新しい体験をすることができ、とても充実した1か月になりました。この病院で研修をすることができて本当に良かったと思います。

自分が研修している場所では、専門の診療科にコンサルトをすることが多く、褥瘡なども皮膚科に診てもらったが多かったと思います。それに対して、五戸総合病院では幅広く、自分たちで診療することが求められていると感じました。褥瘡、熱傷などは common な疾患であるにもかかわらず、自分の研修している場所では褥瘡チームや皮膚科に任せていたところが多く、積極的に自分で診察することや処置をすることを疎かにしていました。五戸病院での研修初日にいざ自分が見ようとした時に知識が浅いことを痛感したことを覚えています。褥瘡に限らず、自分が診療する上で関係する common な疾患に関してもっと自分1人でもある程度診られるように知識や主義を学ばなければいけないと改めて感じました。先生の処置などを見学し、教えていただいたことで褥瘡の診察・処置に関して自信がついたと思います。

また、手術では助手をさせていただきました。浦安病院では助手としてオペに入る機会はほとんどないので、すごくいい経験ができました。縫合の時の注意点や術野の展開、止血のことなど色々と教わりました。

五戸での1ヶ月は大変勉強になり、何よりもすごく楽しかったです。五戸、青森県がすごく好きになりました。冬以外にも訪れてみたいと思っていますし、将来また五戸で働きたいと思いました。1ヶ月間ありがとうございました。